



次代を担う子どもの
育成に向けて

京都府南丹市教育委員会

-
- ・ 京都府南丹市の概要

 - ・ 小学校再編

 - ・ 地域とともにある学校づくり

 - ・ 今後の展望

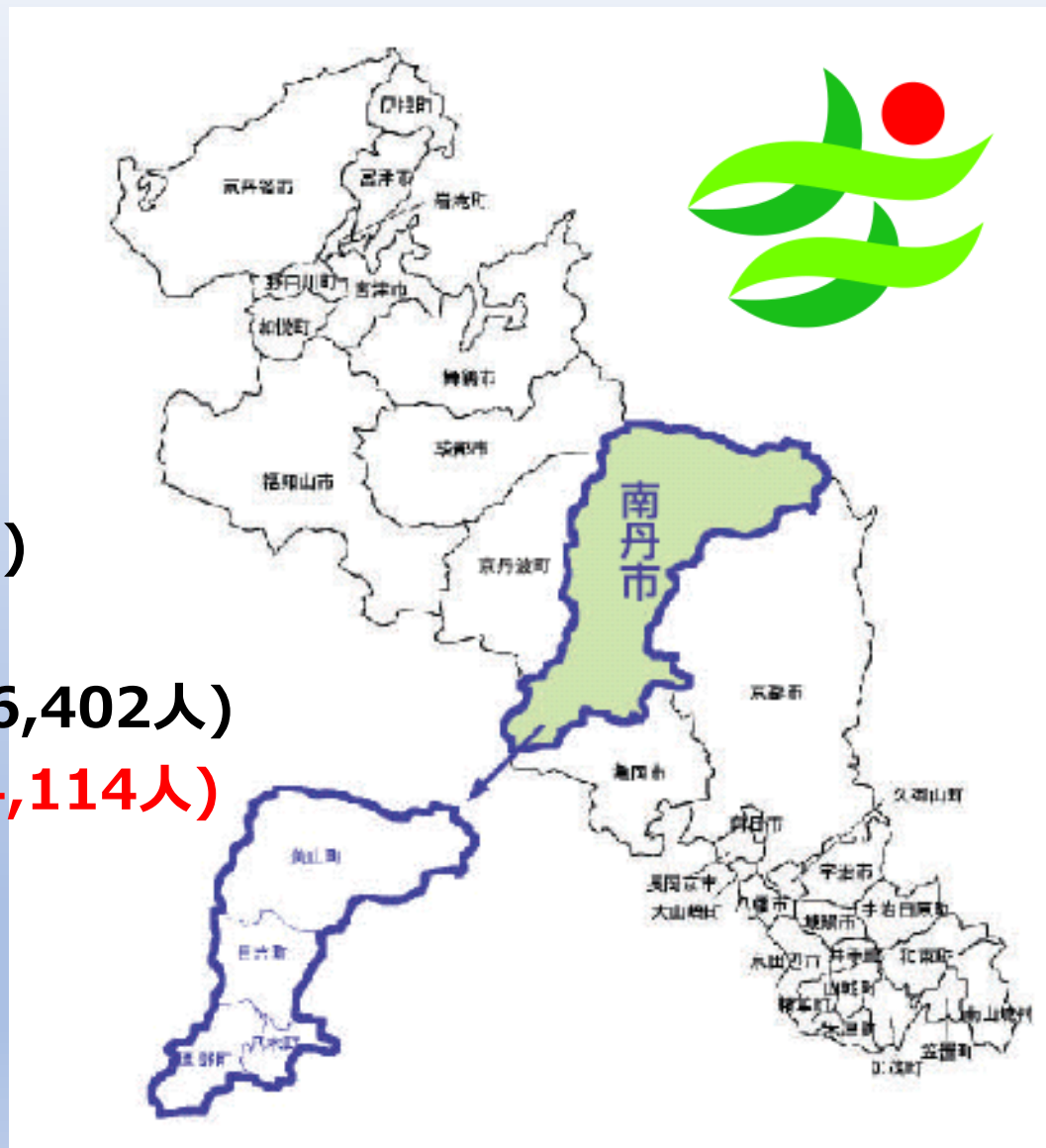
報告の概要

南丹市の概要

- 京都府中央部
- 面積：616.4km²
- 人口：32,288人
(2018年1月1日現在)

(2006年南丹市発足時 36,402人)
(-4,114人)

合併当時
小学校17校
中学校4校



未来を見据えた 教育環境整備



○平成22年

6月議会 「小学校の現状については校長等からよく意見を聴き取りたい。」

7月 市校長会、市教頭会、市教務主任会を組織化
→ 3組織に小学校の現状をどうとらえているか
(教育長諮問)

12月 3組織から、現状改善すべきとの答申

未来を見据えた 教育環境整備



○平成23年

6月 「南丹市教育の在り方懇話会」
「学校教育環境整備等検討委員会」
「中学校給食在り方検討委員会」の立ち上げ
※小学校再編と中学校給食を並行して審議、検討

10月～11月 南丹市政懇談会（市内12会場）
・教育長からは検討委員会の検討状況報告
・2組織の検討中間まとめをパブコメへ

小学校再編



○平成24年

2月

- ・「教育環境整備等検討委員会」
「給食在り方検討委員会」からの答申
- ・定例教育委員会報告 並びに
「小学校再編、中学校給食の方向性」を議論

3月

- 小学校再編並びに中学校給食実施方針を議会表明
- ・豊かに学べる学級集団の確保を
 - ・豊かに食を味わう中学校給食の実施を

小学校再編



○平成24年

6月議会 「対象15小学校総てが閉校、新たにスタートする学校の校章、校歌はすべて新たなものに、卒業証書も第1番から」

7月～ 8月 市内15校PTAへ基本構想説明

10月～11月 南丹市政懇談会（市内12会場）で計画説明

小学校再編



○平成25年

2月～ 3月 住民説明会の開催（15会場）

5月 定例教育委員会で最終再編計画を決定

6月議会 学校設置条例の一部改正議案を可決

小学校再編



○平成26年

4月 園部・八木地域 再編4校の「校歌校章制定委員会」検討

11月 再編4校 校歌・校章の決定

○平成27年

3月 園部・八木地域10校の閉校記念式典 開催

4月 再編4校 開校

小学校再編



○平成27年

4月 美山小学校「校歌・校章制定委員会」検討

10月 美山小学校校歌・校章の決定

○平成28年

3月 美山地域5校の閉校記念式典 開催

4月 美山小学校 開校

教育環境の整備 (ソフト面の整備)



- ・次代を見据えた教育の導入
- ・教員の指導力向上
- ・再編後新たな校区と学校の関係構築
→「地域とともにある学校づくり」へ



文部科学省事業等の活用

文科省事業の活用



- ・ **コミュニティ・スクール導入等促進事業**
- ・ 外国語教育強化地域拠点事業
- ・ 先導的実践研究加配制度
- ・ 学校現場における業務改善加速事業
- ・ **首長部局との協働による新たな学校モデル構築事業**
- ・ **少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業**
- ・ 学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究
- ・ 学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援実践研究
- ・ 小・中学校等における起業体験推進事業
- ・ 障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業

(平成28.29.30年度 南丹市における文科省事業)

小学校再編と並行して

コミュニティ・スクールの導入

- 再編後の新たな校区と学校の関係構築



コミュニティ・スクール導入等促進事業
(全7小学校)



コミュニティ・スクールの導入



○研修会の開催

- ・CSマイスター(森谷正孝氏,大山賢一氏)
- ・近江正隆氏(株式会社ノースプロダクション)
- ・上田真弓氏(兵庫教育大学准教授)
- ・木村直人前参事官

○市内各小中学校とともに、年間数回の熟議開催を支援

○コミュニティ・スクール推進連絡会を開催

→「地域とともにある学校づくり」へ

「地域とともにある学校づくり」



・ 少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業
(美山小学校)

「地域とともにある学校づくり」



合併時の人口	5,209人
H30.9.1現在	3,830人
	(- 1,379人)

地域コミュニティの再構築のために

地域社会と目標を共有



熟議

【地域みんなで美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ】



保護者、地域の願いや思いを
反映した学校教育の推進



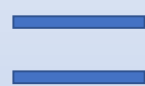
美山学

熟議の テーマ

第1回 H29.3	「美山の子供たちにどう育ってほしいか」
第2回 H29.5	「子供のよさをとらえて地域と学校で一緒に取り組めることを考える」
第3回 H29.9	「さらに伸ばしたい力をつけるために具体的な方策を考える」
第4回 H30.2	「子供に学ばせたい美山のことを考える」
第5回 H30.10	「美山の子供たちにどんな社会人になってほしいか」

<美山学とは>

美山学



地域との連携・協働
による教育活動

- ☆地域の教育資源「人・もの・自然・文化・歴史」
を取り入れる
- ☆特定の教科・領域からなるものではない
- ☆教科横断的な視点（カリキュラム・マネジメント）
- ☆地域への働きかけ（相互利益の関係）

＜美山学単元構想＞

The logo for '美山学' (Misayama Gaku) features the characters in a bold, red, sans-serif font with a white outline. The text is set against a light green, irregularly shaped background that resembles a map of the Misayama region.

- 美山の教育資源のリスト化（地域とともに）
- 既存の学習計画と美山の教育資源との関連付け
- 地域の願いや思いを反映した教育課程の編成と実施



主体性・コミュニケーション力
・思考力・判断力・表現力

<各学年テーマ>

(H30年度 美山小より)

こ だ ま	わくわく美山 美山町について知ろう
1 年	みやまのことをいっぱいしろろう！みつけよう！
2 年	美山のすてきを大はっ見
3 年	美山のお宝発見！～自然・伝統芸能・特産品～
4 年	美山・笑顔まごころおとどけし隊
5 年	ギョ ギョ ギョ ギョ 「美山のステキ 再見！」
6 年	Heat up!美山 ～美山を熱くしてきた歴史・熱くする人・熱くして いく私～

美山ブランドシール

第3種郵便物認可

美山小児童の「会社」シール製作

美山34カンパニーの製作した美山ブランドシールが産品販売されている
(南丹市美山町・まことと美山)

美山小南丹市美山町の6年生34人ずつの「会社」「美山34カンパニー」が地域の魅力を発信するために製作した美山のブランドシールを第三セクター「美山まこと」などが活用することになった。創意工夫した「シネマ」が社会貢献できることには、社員らは喜び、「活動をさらに広げたい」と張り切っている。

ブランドシールは直徑4センチの円形で19種類あり、かやぶき屋根や山川、野菜、自転車など美山の風景や産物、イベントをモチーフにして児童がデザイン化。自分たちで立ち上げた「会社」で9月から製作してきた。

10月末の里山ファンマラソンや、11月初旬の美山ふるさとまつりでシールの活用を要請する計画だったが、台風災害でイベントはすべて中止となった。児童らはめげず当初の計画通り、20日に午後に、美山ふるさとを経営するから町観光協会を訪れ、営業を展開したところ、シール活用の快諾を得た。

台風めげず「営業」実る

美山まこととの奥浩一社長は、地域振興にもなり、全面的に協力します」と話し、すでに商品にシールを貼って販売を始めた。

カンパニーは19種類のシールを集めると自作のかわいいうたを一つ一つ作製して、他の物販売場にもシールのPRと活用を要請する。社長の加地健次さん(51)は「笑顔で貼ってほしいです」と言われたし、早速19種類のシールを集めてくれたおばあちゃんもいて、うれしかった」と手応えを感じている。(二宮 隆)

物販販売所(まことと美山)の入り口には美山ブランドシールのポスターが張り出されている。



美山ブランドシール

明日からいよいよ
修学旅行に出発！
外国人インタビュー
活動のおみやげに
こんなシールをあげ
ようかと思うん
です。

それはいいですね
え。
おもしろそう・・・

すてきなシールや
ね。
地場産品に貼って出
荷したら喜ばれるか
もしれないですね！

うちでつくっている
野菜に貼っても
いいですよ！



第2回熟議にて・・・

美山を発信児童ら“会社”

ブランドシール製作産品に貼り付け依頼へ

南丹市美山町の美山小6年全員34人が、美山の魅力を世界に発信する「会社」
「美山34カンパニー」を設立した。最初の活動として美山の風景などをスケッチしたブランドシールを製作、美山の全産品に貼ってもらうよう生産者に働きかけるほか、テレビやインターネットで広くPR、英語でも発信していく。



事業展開に向けて会議を重ねる児童たち

(南丹市美山町・美山小)

5月に修学旅行で奈良に行った際、出会った観光客らと話す時に美山を紹介する手作りシールを渡していた。このことを聞いた地元の会社社長が絶賛したことで、児童たちは「もったいなくしたブランドシールを作ろう」と「会社」組織で取り組むことを決めた。

宣伝部と調査開発部を設け、



「美山34カンパニー」が製作したブランドシールの試作品

風景デザイン、多言語表記

宣伝部にはパンフレット、ポスター、ホームページ、営業、TVの5課を、調査開発部には調査、商品開発、日本語を英訳するインターナショナル課を置いた。9月から総合的学習の時間を使って取り組んでいる。

ブランドシールは直径3センチの円形で25種類千枚を製作した。かぶき屋根や山、川、野菜、自転車など美山の風景や産物、イベントをモチーフにしてデザイン化。日本語、英語、ハンゲル、中国語で説明を付けている。

29日に行われる「美山里山ファンマラソン」で参加者のセツケンと屋台の商品へのシール貼り付けを依頼するほか、参加予定の駐日アンマーク大使へもシールの活用を要請する。来月の「美山ふるさとまつり」でもPR活動を展開する。

缶バッジ、ぬいぐるみ、美山のゆるキャラの製作も始めており、社長の加地優咲希さん(11)は「みんなで大きな会社にして世界中に美山の良さを伝えたい。将来は本当の会社をつくりたい」と意欲的だ。(三谷茂)

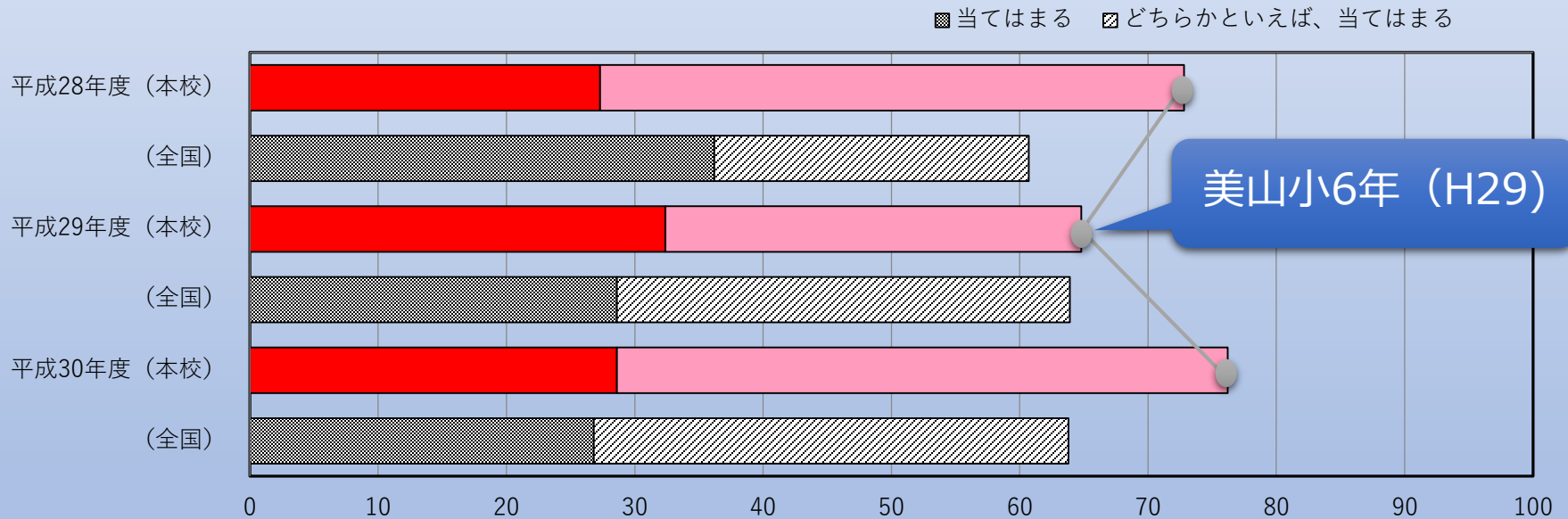
美山ブランドシールの学習を通して

- 児童が地域の方の思いや願いを聞き、受け止めた上で、自分たちに何ができるかを考え、実行する力を付けた。
- 地域との関わりを通して、コミュニケーション力が高まり、地域に喜んでいただいたことで、自己有用感が高まった。
- 地域の方々が子供たちの活動に刺激を受け、イベントなどでシールを活用したり、美山外での広報にポスターを活用したり、地域との協働性が高まった。
- 学校教育と離れたところで、地域の大人とともに事業を継続し、自分たちの地域を何とかしていきたいという強い思いを持つことができた。

研究成果の一例

全国学力・学習状況調査 質問紙

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



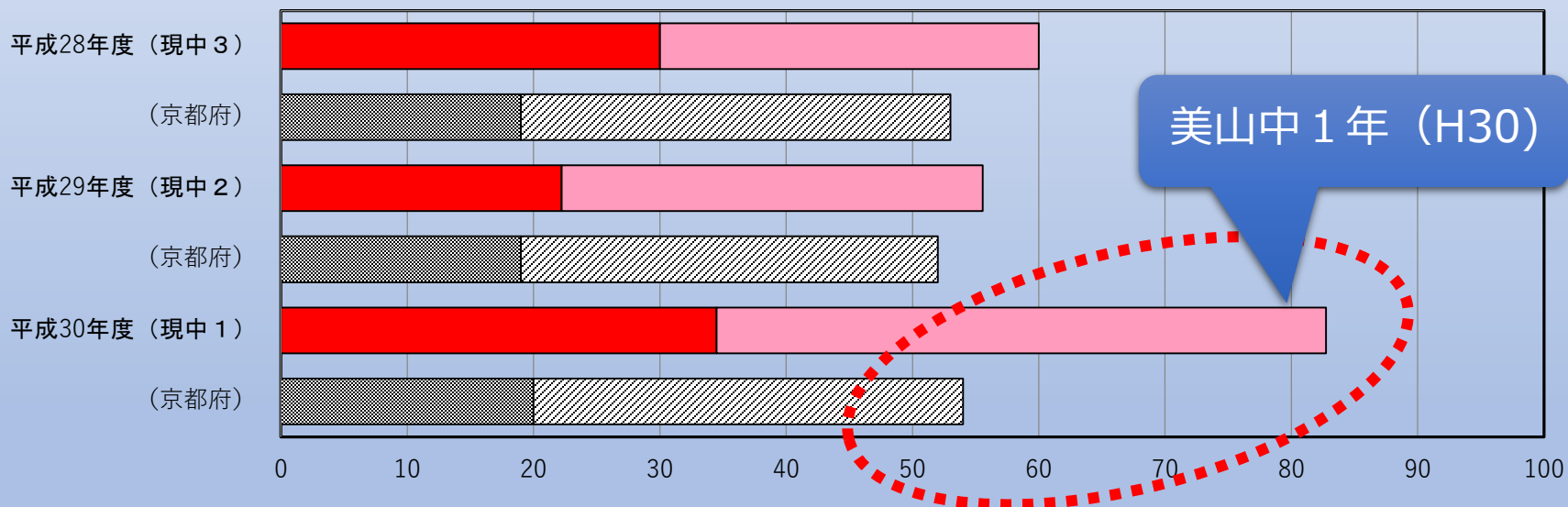
美山小6年 (H29)

研究成果の一例

京都府学力診断テスト 質問紙

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる



その他



美山学

- サテライト教室
- 美山ホームステイ事業
- Web を介した遠隔合同学習
- 防災行政無線の教育利用
- 地域連携コーディネーターの活躍

※美山アプリ

サテライト教室

- 旧校舎を活用した地域学習
- 各地区の教育資源を有効に活用し、地域の方も、ともに学ぶ機会を提供
- 昨年度までに、「知井」「大野」「宮島」「平屋」地区で実施、今年度は、「鶴ヶ岡」地区で実施

児童は

校区・地域・人を知る

地域は

子供の声が聞ける
地域を学ぶ

サテライト教室



地域の方も聴講に

美山ホームステイ

- 5年生児童が2～3人の班に分かれて、美山町各地区の一般家庭に1泊2日の日程でホームステイし、農業体験や地域の伝承について学ぶ。

児童は

コミュニケーション力向上
直接体験による地域理解

地域は

子供との交流
自己有用感・元気

美山ホームステイ



今年度は、9軒の家庭にお世話になりました!!

美山ホームステイ

昨年、美山小学校の5年生のホームステイにかかわらせていただきました宮島地区下吉田の〇〇と申します。

あれから一年。2ヶ月に一度ぐらい2人で遊びに来てくれました。お便りの交換は度々とりかわしました。今年の夏休みの最終日には、一泊の計画を2人で立て、私共と交渉して、無事実施することができました。

二人の計画に便乗して、下吉田の支え合いサロン(高齢者の集い)に参加してもらいました。常々、私共が2人とおつき合いして楽しい時をすごさせてもらっていたことを集落のサロンの皆にもおすそ分けしたいと思っていましたので、たずねてみたら2人がこころよく引き受けてくれました。

午前中 うちわ作り サロンのメンバーも

～中略～

(二日目)午後になると、「あと何時間や」とか2人がこそこそ話していましたが…「□□□さん、2時までと言っていたけど、3時までいてもいいですか?」と、親御さんと相談して、1時間延長を許されました。

～中略～

2人と久しぶりに一泊二日ですごして、一年間の成長ぶりに感心しました。大人に対する言葉づかいは(無理なく)丁寧でした。重い物を運ぶ時、危ないところを歩く時、その他小さな気づかい(心づかい)ができていました。(無理してる風でなく)

ホームステイの取り組みのおかげで二人の子どもさんに出逢えたこと、たくさんの元気をいただけた事に心から感謝してお礼申し上げます。ありがとうございました。

Webを介した遠隔合同学習

- 遠隔地との小学校とWebを介した合同学習を行い、互いの地域のことを知る。
- 島根県隠岐郡海士町の2小学校と昨年度より交流している。

(H29… 3回 H30… 4回)

児童は

コミュニケーション力向上
地域理解の深化

Webを介した遠隔合同学習



防災行政無線の教育利用



「美山学」に関する授業をするとき、児童が呼びかける形で事前に地域に知らせる。

小学校がなくなった地域では「子どものかわいい声が聞こえる」、「今度様子を見に行ってみようかな」等好評を得ている

地域連携コーディネーターの活躍

- 昨年度より「地域連携コーディネーター」を配置
- 美山学講師、見学先の紹介、日程調整
- 美山学校外学習、美山学講師の記録
- 美山学だよりの編集
- ホームページでの情報発信
- 新たなつながりの提案 ➡ 美山アプリ

学校と地域との橋渡し役

※美山アプリ

- 学校・保育所だけでなく、スポーツ少年団、緑の少年団、5地区の振興会の予定などをリアルタイムで情報共有するアプリ

※デンソー株式会社の協力による、京都府・南丹市の協働事業



未来への風プロジェクトセミナー in 美山

風を感じて・・・
今を感じて・・・
～地域の教育力を考える～

2018年10月20日
京都府南丹市美山町



今後の展望

- 美山小の実践をモデルに
- 中学校ブロック毎の学校運営協議会の設置
- 地域学校協働本部の充実と連携
- 市長部局との連携



持続可能な南丹市に！



ぜひ南丹市にお越しく下さい！

